

# 2023年度（2024年3月期） 第3四半期連結決算概要および通期見通し

2024年2月2日  
東京瓦斯株式会社

## 1.2023年度 第3四半期 決算実績 <対前期>

### (1)決算実績のポイント

減収減益：減収は3期ぶり、減益は4期ぶり（純利益ベース）

都市ガス販売量	△ 1,128百万m <sup>3</sup>	:工業用（発電専用）需要減等
電力販売量	△ 7,007百万kWh	:卸供給先の需要減による販売量減等
売上高	△ 3,975億円	:原料費調整に伴う単価減などによる「エネルギー・ソリューション」の売上高減等
営業費用	△ 3,247億円	:原油価格下落影響などによる「エネルギー・ソリューション」の原材料費減等
営業外損益	+50億円	:受取利息 +48億円等
特別損益	+4億円	:（当期）投資有価証券売却益 24億円、長期貸付金評価益 25億円 :（前期）投資有価証券売却益 37億円、事業譲渡益 35億円 投資有価証券評価損 △25億円

<2023年12月末現在連結会社数：連結子会社 107社、持分法適用関連会社 23社>

（単位：億円）

決算実績表	2023年度3Q	2022年度3Q	増減	%
売上高	19,026	23,001	△ 3,975	△ 17.3
営業費用	17,398	20,645	△ 3,247	△ 15.7
営業利益	1,628	2,356	△ 728	△ 30.9
経常利益	1,705	2,382	△ 677	△ 28.4
親会社株主に帰属する当期純利益	1,155	1,680	△ 525	△ 31.3

<参考値>（符号は利益に対する影響を示す）

スライド差※	623	924	△ 301
年金数理差異償却額影響	17	△ 32	49

※原料費調整制度で参照する平均原油価格と足元の原油価格とのタイムラグ等による利益影響。

経済フレーム	2023年度3Q	2022年度3Q	増減
為替レート(¥/\$)	143.33	136.50	6.83
原油価格(\$/bbl)	86.57	107.87	△ 21.30
平均気温(°C)	20.6	19.5	1.1

### (2)都市ガス・電力販売量

		2023年度3Q	2022年度3Q	増減	%	
都市ガス	家庭用	百万m <sup>3</sup>	1,679	1,834	△ 155	△ 8.5
	業務用	百万m <sup>3</sup>	1,609	1,579	30	1.9
	工業用	百万m <sup>3</sup>	3,542	4,509	△ 967	△ 21.4
	計	百万m <sup>3</sup>	5,150	6,088	△ 938	△ 15.4
	他事業者向供給	百万m <sup>3</sup>	1,127	1,162	△ 35	△ 3.0
合計	百万m <sup>3</sup>	7,956	9,084	△ 1,128	△ 12.4	

家庭用：高気温影響等による需要減

業務用・工業用：発電専用需要減等

他事業者向供給：供給先稼働減

小売お客さま件数(千件)：8,779 (対前期+91) ※小売お客さま件数は、ガス小売事業者としてのガス料金請求対象件数。

取付メーター数(千件)：12,411 (対前期+122) ※取付メーター数は、導管事業者としてのメーター取付数。

		2023年度3Q	2022年度3Q	増減	%	
電力	小売	百万kWh	9,446	8,202	1,244	15.2
	卸他	百万kWh	8,951	17,202	△ 8,251	△ 48.0
	合計	百万kWh	18,397	25,404	△ 7,007	△ 27.6

小売：件数増による販売量増

卸他：卸先の需要減

小売お客さま件数(千件)：3,766 (対前期+452) ※小売お客さま件数は、電力小売事業者としての電気料金請求対象件数。

### (3)セグメント別売上高・セグメント利益

(単位：億円)

	売上高				セグメント利益			
	2023年度3Q	2022年度3Q	増減	%	2023年度3Q	2022年度3Q	増減	%
エネルギー・ソリューション	17,353	21,311	△ 3,958	△ 18.6	1,589	2,031	△ 442	△ 21.8
ガス(ネットワーク除く)	11,986	14,911	△ 2,925	△ 19.6	1,108	1,659	△ 551	△ 33.2
電力	4,648	5,996	△ 1,348	△ 22.5	310	167	143	85.4
ネットワーク	2,155	2,229	△ 74	△ 3.3	△ 214	△ 134	△ 80	—
海外	991	1,281	△ 290	△ 22.6	325	639	△ 314	△ 49.1
都市ビジネス	530	462	68	14.8	162	129	33	24.8
調整額	△ 2,005	△ 2,283	278	—	△ 198	△ 247	49	—
連結	19,026	23,001	△ 3,975	△ 17.3	1,663	2,418	△ 755	△ 31.2

(注)・「エネルギー・ソリューション」には、都市ガス(ネットワーク除く)、LNG販売、トレーディング、電力、EPC/EPCC/ソリューション等を含みます。

・「ガス(ネットワーク除く)」には都市ガス(ネットワーク除く)・LNG販売・トレーディングを含みます。

・セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含みます。

・セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。

・当第3四半期連結会計期間より、地域行政・自治体に対するサービス提供体制の見直しを実施したことに伴い、当第3四半期連結累計期間及び前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを開示しています。

### (4)主要計数

(単位：億円、%)

	2023年度3Q	2022年度3Q	増減		2023年度3Q	2022年度3Q	増減	ハイブリッド社債・ローン考慮後※
設備投資	1,489	1,420	69	D/Eレシオ	0.93	0.81	0.12	0.88
営業キャッシュ・フロー	2,726	3,216	△ 490	ROA	3.1	4.9	△ 1.8	※発行済みハイブリッド社債・ローンの資本性50%を調整
有利子負債	15,487	12,632	2,855	ROE	7.2	12.4	△ 5.2	

(注)有利子負債、D/Eレシオは2023年3月末との比較

## 2.2023年度 通期見通し <対前回(10.26)見通し>

### (1)通期見通しのポイント

対前回 減収増益 対前期 減収減益 (純利益ベース)

都市ガス販売量	△350百万m <sup>3</sup>	:高気温影響などに伴う家庭用の販売量減等
電力販売量	△88百万kWh	:小売向け販売量減等
売上高	△410億円	:都市ガス・電力販売量減などによる「エネルギー・ソリューション」の売上減等
営業費用	△690億円	:都市ガス販売量減などによる「ガス」の原材料費減、電力市場価格の下落に伴う調達単価減などによる「電力」の費用減等
営業利益	+280億円	:「エネルギー・ソリューション」の利益増等 ※4Qの経済フレーム(為替レート145円/\$→145円/\$、原油価格90\$/bbl→80\$/bbl)

(単位：億円)

	今回	前回	増減	%	2022年度	増減	%
都市ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	11,494	11,844	△ 350	△ 3.0	12,574	△ 1,080	△ 8.6
電力販売量(百万kWh)	26,132	26,220	△ 88	△ 0.3	34,445	△ 8,313	△ 24.1
売上高	27,200	27,610	△ 410	△ 1.5	32,896	△ 5,696	△ 17.3
営業費用	25,380	26,070	△ 690	△ 2.6	28,681	△ 3,301	△ 11.5
営業利益	1,820	1,540	280	18.2	4,214	△ 2,394	△ 56.8
経常利益	1,900	1,580	320	20.3	4,088	△ 2,188	△ 53.5
親会社株主に帰属する当期純利益	1,410	1,160	250	21.6	2,809	△ 1,399	△ 49.8

経済フレームほか	今回	前回	増減	2022年度	増減
為替レート(¥/\$)	143.74	143.03	0.71	135.50	8.24
原油価格(\$/bbl)	84.93	86.76	△ 1.83	102.67	△ 17.74
平均気温(°C)	17.4	17.1	0.3	16.8	0.6
スライド差(億円)	732	463	269	2,108	△ 1,376

為替・原油変動の都市ガス粗利影響感度(4Q以降) (単位：億円)

	売上高	原料	営業利益
円・ドルレートが¥1/\$円安	3	14	△ 11
原油価格JCCが\$1/bbl上昇	0	1	△ 1